



# ゆいぐみだより

2023年 7月 第2号

暑い日が多くなり、毎日汗をかきながら元気一杯遊んでいる子ども達。「今日はどんな遊びをしようかな」と次々考えて笑い合っている姿に私達も元気をもらいます。子ども達は『遊びの天才』です。

最近では、お泊り保育の話題も増えて「早くお泊まりしたいな」と楽しみにしているようです。お泊り保育に向けてグループ作りも行いました。同じグループになりたい友達同士が集まり「ドラゴン」「にんじん」「しろ」「イケメン」とグループ名も決めて発表してもらいました。なかなか決まらないと思っていたらあっさりと決まり、それぞれに理由もあって面白かったです。子ども達にとって素敵な思い出になるようなお泊り保育にしていきたいと思います。



## おもしろい絵本の世界



ひらがなが読めるようになり、絵本への興味も深まっている子ども達。カタカナや漢字が出て来ると「これは何て読むの?」と聞きながら自分で読んで想像力を膨らませています。物語を楽しむ他にも、作者や絵を描いた人にも関心があるようで、「この本は誰が作ったの?」と聞いてきたり「あの本と同じ人だ」「この絵知ってる。誰だっけ、あの本と同じ人」と絵を見て作者が分かる時もあるようです。また、絵本の最後のページに載っている作者の絵本紹介の所まで見ながら「この本見てみたい」と絵やタイトルから想像しワクワクが止まらない子ども達です。しかもそれを忘れず「先生、見つけてきた?」と催促されることも!! 本当に絵本が好きなんだなと感心します。子ども達が図書館や本屋で面白い本を見つけると教えてくれたり、保護者の方々から連絡ノートで面白い本を教えてくださいとお願いする事もあり、絵本を選ぶ参考にさせてもらっています。これからも沢山の絵本に触れ、子ども達と一緒に楽しんでいきたいと思っています。



# 秘密の暗号



毎日担任間で飛び交う「4・4・4・4」「4・4・3・3・3」などの暗号。最初の頃は何かわからずに真似をしたり、適当に数字を言っていた子ども達でしたが、並べるテーブルの数であることを知ると一緒に考えてくれるようになりました。その日の登園人数によって変わるので、私達も分からなくなって悩む事もあり、今では子ども達の方が答えるのが早いくらいです。保育士間のやり取り、その後の保育士の行動を見て考えて理解した子ども達。言葉で伝えなくても見て考え、ひらめいて答えを導いていくことに成長を感じました。



## アリとの戦い



様々な物に興味をもち、毎日友達同士で遊びを考えて楽しんでいる子ども達。体を動かして遊ぶ事も大好きですが、虫の観察にも興味津々で、何か見つけると大興奮で友達と見せ合っています。ある日、園庭にある山の麓にアリの穴の入り口を発見。しばらくアリの出入りを観察していたのですが、小石を持ってきて入り口を塞いでしまいました。次の日、山に向かうと塞いだはずの入り口が再びできていて、また石を持ってきて穴を塞ぎ、今度は砂で固めていました。かわいそうだなと思いながらも、アリの生態を観察するには良いきっかけになると思い、子ども達の行動を見守っていました。次の日にはなんと穴の入り口が3個に増えているのを発見! 驚きながらもすぐに小石を持って来て塞いでしまいました。近くには自分よりも大きい物を一生懸命運んでいるアリがいて「すごい」「がんばれ」と応援してあげていますが、穴への入り口は塞がれていて入れないアリ達。困ってうろうろするアリの行き先を追って観察していました。休日明けにはなんと7個の穴を発見し「アリは小さいけどすごい」と実感しながら、アリの為に日陰を作ってあげたり、葉っぱなどを近くに置いてあげたりと優しさも見られるものの、やはり穴は全部塞がれていました(笑)。その後は大雨があってアリの穴は無くなってしまいましたが、アリとの戦いは他の場所へと続いたのでした。